

4月24日：VN指数は急反発 (VN-Index +2.40%)

- 国家証券取引委員会 (SSC) は午前中、新取引システムの導入プロセスに関する会議を開催し、VN 指数は順調な滑り出しとなった。
- その後、対米ドルの為替レートがわずかにドル安に推移したことも上昇を後押しする一因となった。
- 午後買い圧力は引き続き強く、市場全体をさらに上昇させた。
- メディア以外の全セクターが大きく上昇し、中でも金融、情報技術、小売セクターが好調だった。
- 435 銘柄が上昇、69 銘柄が下落、39 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日から 13.8% 上昇し、19.8 兆ドンであった。

VN30 指数はさらに好調 (VN-30 +2.65%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、全 30 銘柄が揃って上昇した。
- FPT (+6.95%)、GVR (+6.88%) はともにストップ高を記録し、MWG (+5.02%) が続いた。

セクター・個別株の動き

- 昨日エヌビディアとの協力関係を明らかにした FPT (+6.95%) は、2040 年に温室効果ガス排出の実質ゼロの達成を目標とし、アメリカ国際開発庁がベトナムを支援するエネルギープログラム (V-LEEP II) に引き続き参画すると明かした。
- VCG (+3.84%) は年次株主総会において、同社が行っているプロジェクトが順調に進捗していることを示唆した。さらに、2024 年第 1 四半期の売上予想を 4000 億ドンとを発表した。
- 外国人投資家は 4000 億ドンの買い越しであった。FUEVFNND (+3.20%) が 1 兆ドン近く売り越され、VHM (+1.00%)、HDB (+0.90%) が続いた。一方で HPG (+4.35%)、MWG (+5.02%)、VND (+6.09%) が主に買い越された。



ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。